

# 救援・復興県民会議だより

〈発行〉 東日本大震災津波救援・復興岩手県民会議

No. 1 2

〒020-0015

盛岡市本町通2-1-36

浅沼ビル4F

電話・FAX(兼)

019-601-5133

メールアドレス

fukkou\_ikg@hyper.ocn.ne.jp

## 被災者本位の復旧・復興をめざして —「全国交流集会2012inみやぎ」開催— 岩手県内から24人が参加

10月7, 8日の2日間にわたって宮城県蔵王町遠刈田温泉の蔵王町ふるさと文化会館とホテルさんさ亭を会場において、「全国交流集会2012 inみやぎ」が開催されました。16都道府県から255人が参加、岩手県内からは24人が参加しました。全体集会では主催者(5団体)を代表して、大黒作治全国災対連代表世話人(全労連議長)が挨拶、地元実行委員会からみやぎ県民センター綱島不二雄代表世話人が挨拶。続いて歓迎挨拶を地元蔵王町村上英人町長が行い、来賓として出席した日本共産党高橋ちづ子衆院議員が挨拶をしました。また、交流集会への後援・賛同団体として、岩手県内からは大船渡市、紫波町、住田町、二戸市、西和賀町、普代村、平泉町、洋野町、八幡平市から届いていることが紹介されました。

記念講演は、岡田知弘京都大学大学院教授が「東日本大震災復興をめぐる二つの道」～「惨事

便乗型」復興から「人間の復興へ」～と題して講演をしました。岡田先生は、東日本大震災が



被災3県に限定された問題ではなく東日本を含め広範囲における問題であること、そして、復興のあり方が問われる中で、「構造改革」路線から被災地被災者一人ひとりに添った取り組み—「人間の復興」へ—が重要だと強調しました。

全体集会では、東日本大震災から1年半が経過したもとの、被災3県(岩手・宮城・福島)の現状と課題について報告がされました。岩手につい



## 被災3県の報告(岩手)を行う鈴木事務局長

て、鈴木事務局長が、宮城について綱島代表世話人が、福島について斉藤代表委員が行いました。

※ 鈴木事務局長の「岩手の現状と課題」の報告(発言時間が20分と限定されていたので、全文で)を、県民会議のホームページに掲載しますので参照願います。

全体集会後、会場を「ホテルさんさ亭」に移動して、7, 8日の2日間にわたり9つの分科会が行われました。岩手は、第4分科会「住民の意思にもとづくまちづくり、集団移転」(助言者に大船渡市職労の新沼さん)と、第9分科会「二重ローンの解消と被災地の中小企業支援」(助言者に佐々木良博弁護士)、そして司会・記録を受け持ちました。第1分科会「被災者の生活再建をめざして～生活再建支援法の抜本改善を」では、陸前高田市の生活・生業の支援策が紹介をされると内容等への質問が多数出されました。ローン問題解消のための私的整理ガイドラインの取り組み、宅地の復旧や住宅再建に向けた制度の拡充など熱心な討論が行われました。

分科会終了後、会場を文化会館に移動して全体集会がもたれ各分科会からの報告が行われました。最後に、住江憲勇全国災対連代表世話人(全国保団連会長)がまとめを兼ねた閉会挨拶を行い、住江氏は昨年よりも参加者を増やして大きく成功させたこと、来年の開催の確認、要求実現と政治変革に向けて取り組むことを呼びかけました。